

allfesta

FOR LOCAL GOVERNMENT

自治体DXを、 福岡発で並走する。

AI伴走サービスのご案内 - 進め方・料金・伴走範囲のすべて。

経営19年・福岡13年の地場感覚 × 動くAIデモ9個。「現場の文脈」を理解する実装パートナー。

自治体に「AI伴走」が必要な理由

生成AIの社会実装が一気に進み、自治体現場でも「使う」段階に入りました。

ただし、AIを「導入」するだけでは、現場は変わりません。

業務に合わせた実装と、職員と並走しながら定着させる「伴走者」が必要です。

TREND 01

国の方針

自治体DX推進計画・地方自治体DX推進手順書の改定により、AI活用が政策に明記。

TREND 02

生成AIの普及

ChatGPT以降、職員レベルでもAI利用が日常化。庁内ガバナンス整備が急務に。

TREND 03

住民期待の上昇

スマホ世代の住民が「申請が紙」「窓口で並ぶ」に違和感。サービス品質の差が露見。

自治体DXの3つの壁

よく耳にする、自治体担当者のお悩み。私たちが、ひとつずつ崩していきます。

WALL 01

人員不足

専任のDX担当が置けない。

- allfesta's Answer

兼務担当者の負担を増やさず、外部から「もう一人の専任スタッフ」として並走します。

WALL 02

予算化の難しさ

効果が見えないと議会・財政課に説明できない。

- allfesta's Answer

小規模PoCで成果を可視化 → 次年度の本格予算化へ繋ぐ「2段階」アプローチを提案します。

WALL 03

前例不足

他自治体の事例が少なく、判断材料がない。

- allfesta's Answer

9個の動くデモを実際にお見せします。「これと同じ方向性」と判断しやすくなります。

allfestaの3つのアプローチ

「絵に描いた餅」ではなく、現場で動くものを、現場と一緒に育てる。

01

APPROACH 01

動くデモから始める

まず動くデモを使って意見交換。「これは違う」「これが要る」の判定を、紙の上ではなく現物で行います。

。

02

APPROACH 02

小さく始めて、育てる

小規模PoC（80～150万）でまず効果検証。手応えがあれば本格運用へ。失敗の損失を最小化します。

03

APPROACH 03

職員と並走する

システム納品で終わらせず、職員研修・運用設計・改善サイクルまで一気通貫で並走します。

サービスの全体像

3つのフェーズを段階的に進めます。各フェーズで「やめる/続ける」の意思決定が可能です。



+ 全フェーズで「並走支援」を提供：

進捗確認 / 議会・財政課への説明資料作成 / 庁内勉強会 / 補助金申請サポート

STEP 1

現場観察フェーズ

1~2週間 / まずは現場に入り、職員と一緒に課題を見つけます。

システム要件を「上から」決めるのではなく、業務の実際を観察しながら、現場の方々と一緒に「何を解決すべきか」を定義していきます。職員ヒアリング、業務同行、住民の声の調査などを組み合わせて、机上の課題定義では見えない現場のリアルを掴みます。

現場ヒアリング

職員10~20名 / 部署横断

業務同行

実際の窓口・処理フローを観察

現状調査

既存システム・帳票・運用ルールの棚卸し

課題定義書

優先度付きの課題リスト + KPI案

STEP 2

PoC 実装フェーズ

2~4週間 / 動くプロトタイプで、効果を「目で見て」確認します。

既存の動くデモ（9個）をベースに、貴自治体の業務に合わせてカスタマイズ。実際の業務データ（匿名化）で検証し、定量・定性の両面から効果を測定します。「これなら本格導入したい」と思える状態を、4週間以内に作ります。

プロト実装

既存DEMOを土台にカスタム開発

現場検証

実データでの効果測定

改善反復

職員フィードバックを即反映

効果報告

定量・定性 両面からのレポート

STEP 3

運用・定着フェーズ

3～12ヶ月 / 本格運用を、職員と一緒に動かしていきます。

本格運用を開始し、職員研修・運用ルール作成・KPI改善サイクルを通じて、定着までを並走します。「導入して終わり」ではなく「使い続けて成果が出る」まで責任を持ちます。年度を跨ぐ案件にも、複数年契約で対応可能です。

本格実装

本番環境への展開・運用設計

職員研修

AI活用研修・庁内勉強会

改善サイクル

月次レビュー・四半期改善

議会報告支援

効果報告書・住民への発表資料

料金体系

段階的に進められる3つのプラン。組み合わせ・カスタマイズも可能です。

PoC パッケージ

3~4週間

80 - 150万円

小規模・短期で、効果検証を行うプラン。次年度予算化のための「実証データ」を作る用途に最適。

- INCLUDES

- + 現場ヒアリング
- + 動くプロトタイプ
- + 効果検証レポート
- + 次フェーズ提案

単年契約

6~12ヶ月

350 - 800万円

単年度予算で完結する、本格実装+運用支援プラン。プロポーザル方式・随意契約いずれも対応。

- INCLUDES

- + 全フェーズ伴走
- + 本格システム実装
- + 職員研修・運用設計
- + 月次レビュー

RECOMMEND

複数年契約

2~3年

年 500 - 1,200万円

中長期で定着まで責任を持つプラン。組織変革・複数部署展開・継続改善が必要な案件向け。

- INCLUDES

- + 全フェーズ伴走
- + 複数部署展開
- + 組織変革支援
- + 四半期改善

契約形態

自治体の調達ルールに合わせて、複数の契約形態に対応します。補助金活用のサポートも可能です。

– プロポーザル方式

企画提案による選定

仕様書ドラフトの壁打ちから、提案書作成、プレゼンまで伴走します。

– 随意契約

少額・専門性のある案件

専門性を要する案件、特命随意契約にも対応。理由書作成サポート。

– 単年度契約

4月開始・3月終了

年度を跨がない案件向け。仕様書から導入完了までを年度内に。

– 複数年度契約

中長期プロジェクト

債務負担行為、長期継続契約での対応。

– 補助金活用

デジタル基盤改革支援補助金 等

対象補助金の事前調査、申請書作成サポート、採択後の実装まで一気通貫。

– 公民共働事業

実証実験フルサポート事業 (mirai@) 等

応募書類作成・選考プレゼンから運営まで対応可能。

セキュリティ・データ取扱い方針

住民データ・個人情報を扱う前提で、自治体に求められる水準のセキュリティ・データ取扱いを整備します。

ー データ保管地

日本国内リージョン

AWS / Azure / Google Cloud の東京・大阪リージョン、または Xserver VPS（国内データセンター）。海外転送なし。

ー 暗号化

通信・保管時とも暗号化

通信はTLS 1.2以上、保管データはAES-256で暗号化。AWS / Azure / Google Cloud ではKMS等のマネージド鍵管理を、Xserver VPS ではOSレベル（LUKS）またはアプリ層で鍵管理。

ー アクセス制御

最小権限原則・多要素認証

担当者ごとに最小権限を割当。管理画面は多要素認証必須。アクセスログを保管。

ー 個人情報保護

個人情報保護法・条例準拠

自治体の個人情報保護条例に従い、必要に応じて事前協議・PIA実施に対応。

ー AI利用方針

学習データへの転用なし

OpenAI / Anthropic API 利用時は学習データオプトアウト設定。日本国内モデルも選択可能。

ー 監査・証跡

ログ保管・提出対応

操作ログ・アクセスログを最低1年保管。監査対応・情報開示請求にも対応。

自治体向け動くデモ

提案段階で実際に「動くもの」をお見せできます。貴自治体向けカスタムの起点として活用ください。

DEMO 01

キャリアシミュレーターAI

IT人材から異業種DX職への転換を、スキル診断×ロープレ×分岐ツリーでシミュレーション。福岡市mirai@・福岡県の若者就職連携を想定。

DEMO 02

申請漏れゼロAI

福岡市の福祉制度（7カテゴリ・30以上）から住民に合う支援をマッチング。申請漏れを防ぎ、窓口職員の案内工数を削減。mirai@応募デモ。

DEMO 03

保育防災AI

保育園の災害対応プロトタイプ。行政・園長・保護者・職員の4ロールに対応したマルチビューで、訓練と初動判断を支援。

DEMO 04

議事録ゼロ化AI

自治体会議の録音→文字起こし→要約→Word/PDF出力を約1分で。議事録作成工数を大幅削減。DX戦略課公募・mirai@応募想定。

DEMO 05

乳幼児あそびレシピAI

親の余力チェックインから、その日の遊びを3〜5件提案。兄弟同時遊びにも対応。福岡市子育て支援課向け・公開URLあり。

DEMO 06

地域公共交通計画 策定支援AI

改正活性化再生法に対応し、地域公共交通計画の法定6項目ドラフトを自動生成。県内60市町村プロファイル+八女市ドリルダウン。

DEMO 07

KDB市町村ベンチマークAI

国保データ（KDB）で市町村の医療費・健診率を5指標で横比較。60市町村ランキング・ヒートマップ、県管理者ビュー対応。

DEMO 08

6次化商品コーチAI

一次産業者の商品開発を伴走。ターゲット・販路・原価から商品コンセプトシート+簡易事業計画をPDF出力。福岡県農林部・JA・商工会向け。

DEMO 09

パブリックコメントAI

寄せられた意見を論点クラスタリング・賛否抽出・要約。担当課の集約作業を大幅短縮するプロトタイプ。

実績と取り組み

経営19年・福岡13年の地場活動と、現在進行中の自治体DX関連プロジェクト。

経営19年・福岡13年	コワーキング・教育	学生コワーキング「天神仕事基地」累計50,000名利用、プログラミングスクール校長兼講師など、地場の人材育成に貢献。
組合実績	コワーキング協同組合 理事	代表が経産省認可法人コワーキング協同組合の理事として、全国のコワーキング業界の代表を務める。
メディア事業	福岡パパ・中小企業AI	福岡パパ向け子育てメディアと、福岡中小企業向けAI活用メディアを立ち上げ。地域に根ざしたメディア事業を展開中。
AI実装	9個の動くデモ	生成AI・予測モデル・Webアプリの実装を内製化。提案時に動くプロトを即お見せできる体制。
実証構想中	自治体DX伴走	mirai@・公民共働事業など、福岡市・近隣自治体との実証を構想・提案中。

よくあるご質問

自治体担当者の方からよくいただくご質問への、私たちの考え方をお伝えします。

Q. 他自治体での導入実績は？

現在 mirai@ 応募準備中

現時点では福岡市mirai@への応募準備中。動くデモで効果を検証 → 本格契約のステップを推奨します。

Q. AIの誤判定リスクは？

職員確認のフローを設計

AIは判定補助に留め、最終判断は職員が行う設計。重要な業務ほど人とAIの分担を明確化します。

Q. 既存システムと連携できる？

API・CSV連携で対応可能

多くのケースでAPI/CSV連携で対応可能。既存ベンダーとの調整も伴走します。

Q. ベンダーロックインが心配

コード・ドキュメント納品

ソースコードと運用ドキュメントを納品。職員研修で内製化も支援、乗り換え可能性を確保。

Q. 議会・財政課への説明資料は？

作成・登壇代行も対応

説明資料の作成・議会説明への登壇代行も伴走範囲。福岡発のチームが直接対応します。

Q. データセットがなくても使える？

小さく始めて検証可能

既存データの棚卸しから一緒に。少量データでもPoCを開始し、データ整備計画も並走します。

ご相談から契約までの流れ

初回お問い合わせから、契約まで、平均2~3週間。お急ぎの場合はご相談ください。

STEP 01	初回お問い合わせ フォーム / LINE / メール	お問い合わせから24~48時間以内に返信
STEP 02	無料相談（30分~60分） Web会議 or 訪問	課題感をお聞かせください。NDA可
STEP 03	提案書・お見積もり 7営業日が目安	具体的なプラン・体制・スケジュールをご提示
STEP 04	契約 2~3週間が目安	所定の契約手続き・補助金活用の場合は別途相談
STEP 05	プロジェクト開始 キックオフ	現場観察フェーズへ

自治体DXのご相談、 お気軽にどうぞ。

「まだ構想段階」「他社と比較中」「仕様書もまだ」も歓迎です。まずは課題感を、お聞かせください。

— WEB allfesta.com

— FORM [allfesta.com / お問い合わせ](https://allfesta.com/お問い合わせ)

— LINE [LINE公式アカウント \(情報配信\)](#)

— HQ 〒810-0001 福岡市中央区天神2-3-10 天神パインクレスト 719号

— ACCESS 西鉄福岡（天神）駅北口 徒歩1分

— HOURS 平日 10:00 – 15:00 / お問い合わせは随時

— 自治体DXは、福岡発・allfesta から。 —